

リンドウ

こちらは、リンドウ。花屋さんで見える園芸種とはちょっと違った趣があります。背丈もとても低いのです。



雌しべが2本に見えますが、1本の雌しべの先がふたつに分かれているのだそうです。咲きはじめのころは雄しべが花粉を出し、あとから雌しべが成熟し、先が二つに裂けて受粉します。こうすることで自家受粉が防げるのだそうです。

つまり、この花は咲き終わりに近いということなのですね。